

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 27 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

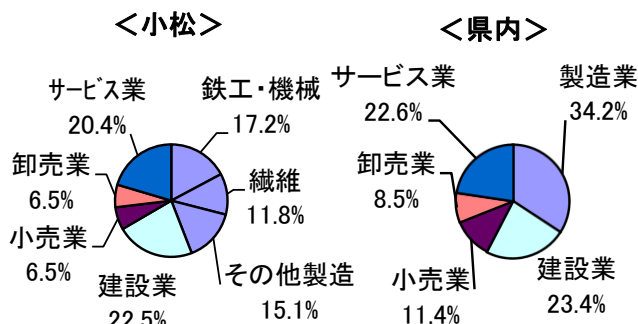
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 93企業（回収率 41.3%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	16	177
繊維	11	
その他製造	14	
建設業	21	121
小売業	6	59
卸売業	6	44
サービス業(運輸含む)	19	117
合計	93	518



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 ……平成 26 年度第4四半期(平成 27 年 1 月～3 月)

今 期 ……平成 27 年度第1四半期(平成 27 年 4 月～6 月、但し 6 月は見込み)

来 期 ……平成 27 年度第2四半期(平成 27 年 7 月～9 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	1	4	4	4	2	3	3	4	1	1	2	1	5	2
不 変	6	8	4	6	6	7	7	11	2	4	1	4	8	13
悪 化	9	4	3	0	5	3	10	5	3	1	3	1	6	4
無回答				1	1	1	1	1						
総 計	16		11		14		21		6		6		19	

(1)-2 DI値

(単位: DI)

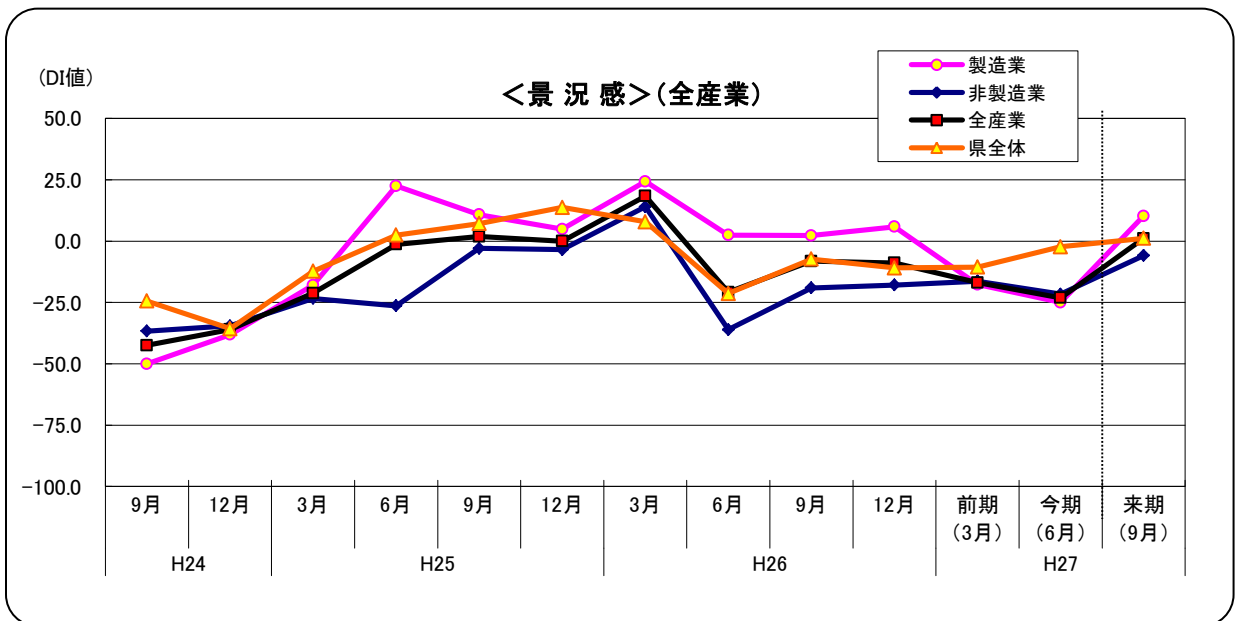
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製 造 業	鉄工・機械	▲ 33.3	—	▲ 50.0	—	0.0	—
	繊維	▲ 18.2	—	9.1	—	40.0	—
	その他製造	0.0	—	▲ 23.1	—	0.0	—
	製造計	▲ 17.6	▲ 10.9	▲ 25.0	▲ 1.7	10.3	2.9
非 製 造 業	建設業	▲ 26.7	▲ 10.5	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 5.0	▲ 7.7
	小売業	▲ 16.7	6.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 8.6
	卸売業	▲ 22.2	▲ 25.5	▲ 16.7	0.0	0.0	9.5
	サービス業(運輸含む)	▲ 5.3	▲ 11.2	▲ 5.3	19.1	▲ 10.5	9.4
	非製造計	▲ 16.3	▲ 10.4	▲ 21.6	▲ 2.7	▲ 5.9	0.3
全 体		▲ 16.9	▲ 10.5	▲ 23.1	▲ 2.3	1.1	1.2
改善予測		▲ 6.9	11.6	24.2	3.5	—	—

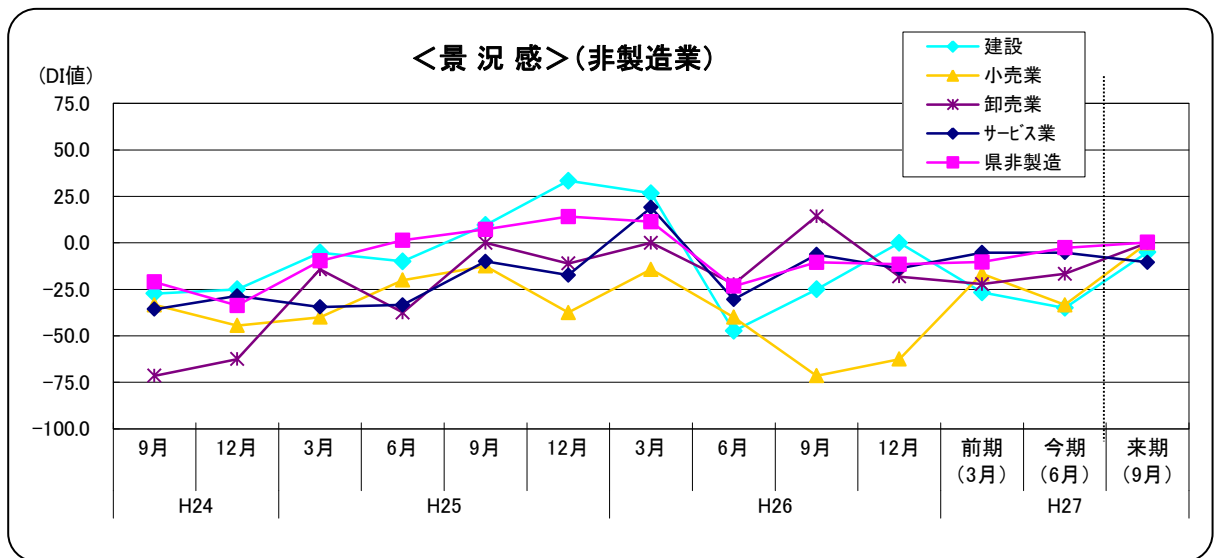
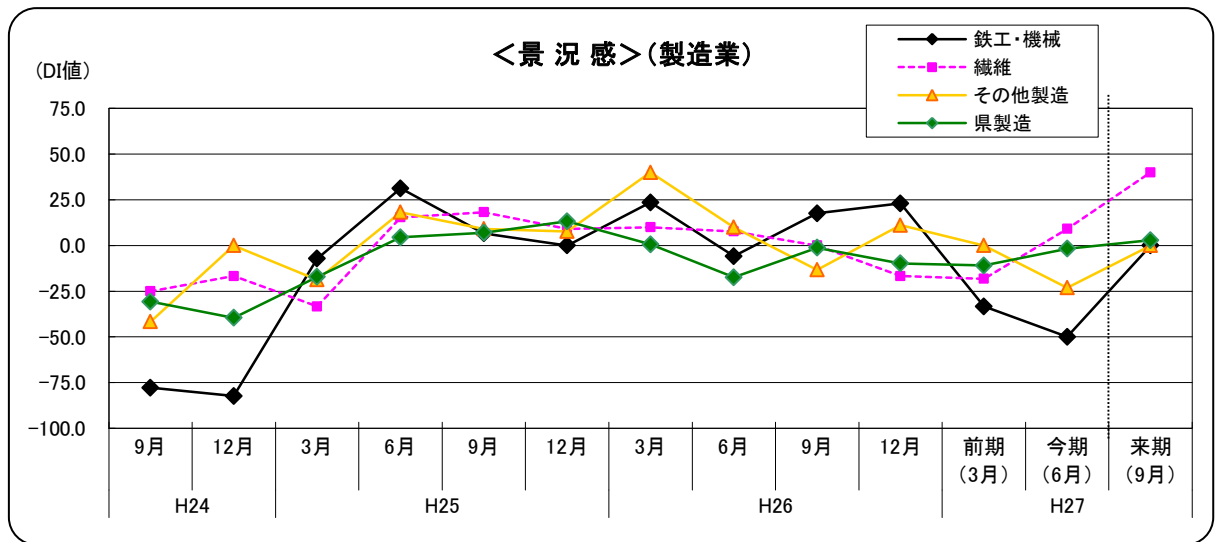
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期▲33.3ポイントだったが、今期は▲50.0ポイントと更に悪化。来期は0.0ポイント回復の見通しを示している。繊維においては前期が▲18.2ポイントであったが、今期は9.1ポイントと回復、来期が40.0ポイントと更に回復の見通しを示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は回復の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲26.7ポイントから今期▲35.0ポイントとやや悪化傾向にあり、来期が▲5.0ポイントと回復の予測が伺える。小売については今期16.6ポイント悪化、卸売は5.5ポイント回復、サービス業は横ばいとなっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H27.6)			来期(H27.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 25.0	10	4	↗ 10.3	↗ 11	↗ 5	41社
非製造業	▲ 21.6	12	10	↗ ▲ 5.9	↘ 9	↘ 8	52社
全体	▲ 23.1	11	7	↗ 1.1	↗ 10	→ 7	93社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第1四半期)の状況

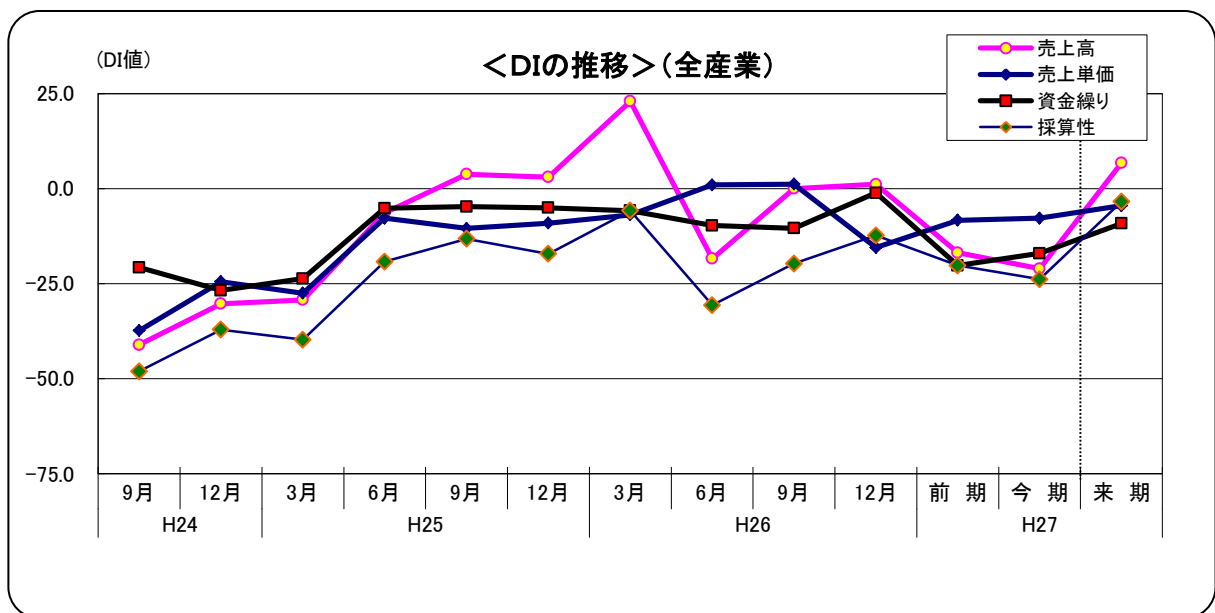
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 27.5	▲ 4.0	▲ 7.5	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 30.0	▲ 13.7
建設業	▲ 26.3	▲ 31.1	▲ 15.8	▲ 13.9	▲ 11.1	▲ 4.3	▲ 33.3	▲ 22.4
小売業	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	1.7	▲ 60.0	▲ 10.3	▲ 33.3	▲ 18.6
卸売業	0.0	▲ 4.5	16.7	8.9	▲ 16.7	▲ 2.3	0.0	▲ 13.6
サービス業	0.0	15.9	▲ 5.3	1.8	▲ 5.3	8.8	▲ 5.6	3.6
全体	▲ 21.1	▲ 5.5	▲ 7.8	▲ 4.5	▲ 17.0	▲ 3.6	▲ 23.9	▲ 12.5

来期(第2四半期)の見通し

(単位:DI)

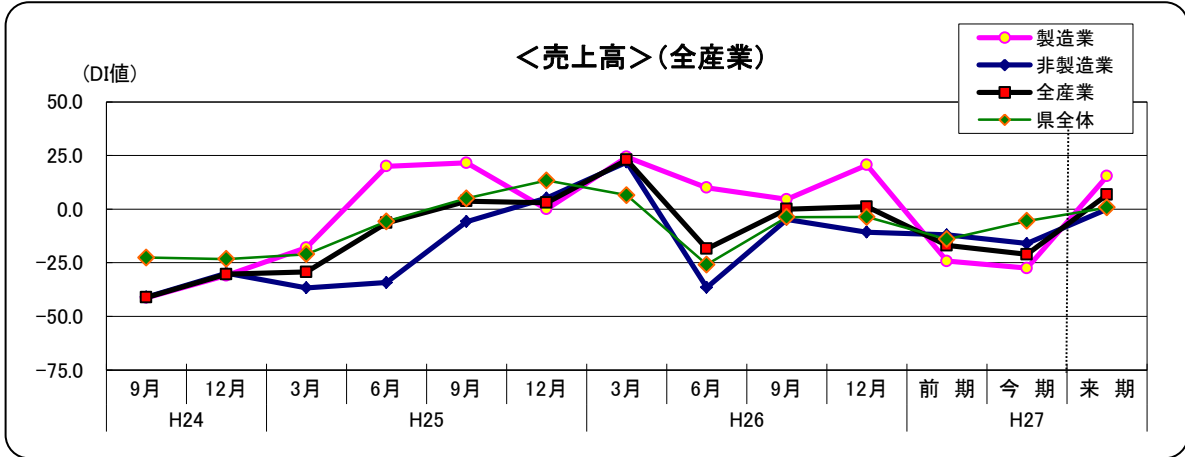
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	15.4	0.6	▲ 7.7	▲ 7.5	▲ 7.7	▲ 6.3	5.1	▲ 6.3
建設業	▲ 10.5	▲ 12.8	▲ 15.8	▲ 7.0	▲ 11.1	▲ 6.1	▲ 16.7	▲ 20.0
小売業	▲ 16.7	▲ 1.7	▲ 16.7	0.0	▲ 40.0	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 15.5
卸売業	33.3	19.0	16.7	4.8	0.0	▲ 4.8	16.7	0.0
サービス業	5.3	9.6	10.5	3.5	▲ 5.3	3.5	▲ 5.6	▲ 5.3
全体	6.7	0.8	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 9.2	▲ 4.4	▲ 3.4	▲ 9.7
改善予測 (今回)	27.8	6.3	3.3	1.5	7.8	▲ 0.8	20.5	2.7
改善予測 (H27.3)	▲ 18.8	10.0	4.9	6.8	0.0	7.6	▲ 3.6	12.4
改善予測 (H26.12)	▲ 13.9	▲ 10.4	5.0	0.3	▲ 7.2	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 5.3



(2) 売上高

(単位: DI)

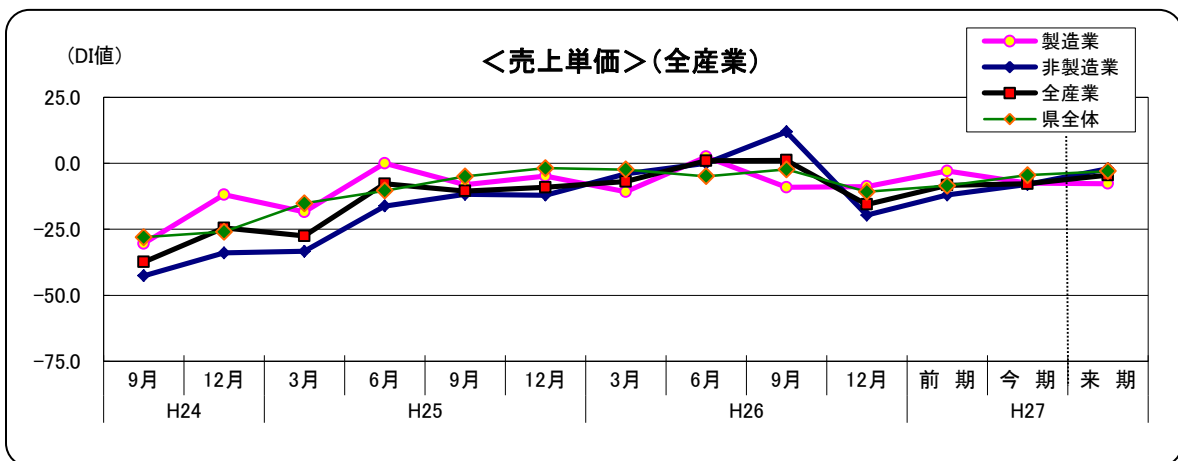
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	12.5	30.0	7.7	15.4	▲ 10.5	▲ 16.7	33.3	5.3	0.0	6.7	0.8
今期	▲ 56.3	9.1	▲ 23.1	▲ 27.5	▲ 26.3	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 16.0	▲ 21.1	▲ 5.5
前期	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 24.2	0.0	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 10.5	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 14.0



(3) 売上単価

(単位: DI)

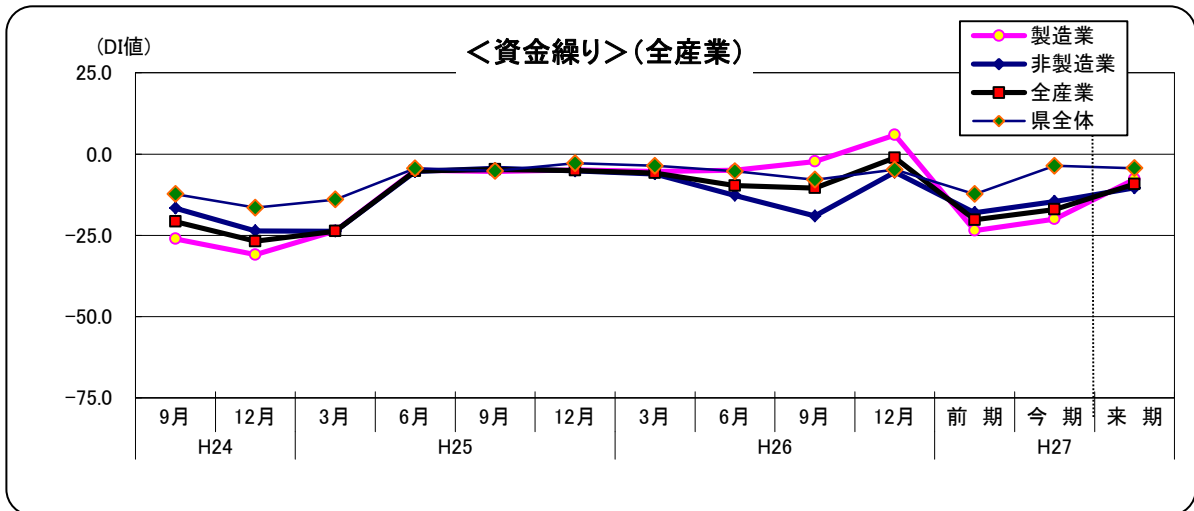
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 6.3	10.0	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 15.8	▲ 16.7	16.7	10.5	▲ 2.0	▲ 4.5	▲ 3.0
今期	▲ 12.5	9.1	▲ 15.4	▲ 7.5	▲ 15.8	▲ 16.7	16.7	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 7.8	▲ 4.5
前期	▲ 8.3	9.1	▲ 9.1	▲ 2.9	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 8.5



(4) 資金繰り

(単位:DI)

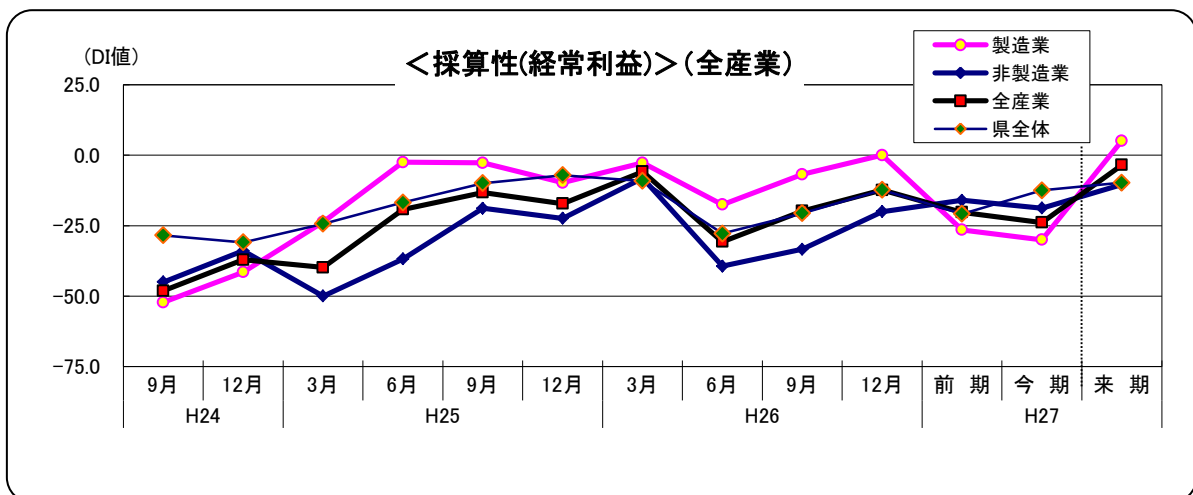
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 12.5	10.0	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 11.1	▲ 40.0	0.0	▲ 5.3	▲ 10.4	▲ 9.2	▲ 4.4
今期	▲ 31.3	▲ 18.2	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 16.7	▲ 5.3	▲ 14.6	▲ 17.0	▲ 3.6
前期	▲ 25.0	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 57.1	▲ 11.1	▲ 10.5	▲ 18.0	▲ 20.2	▲ 12.3



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

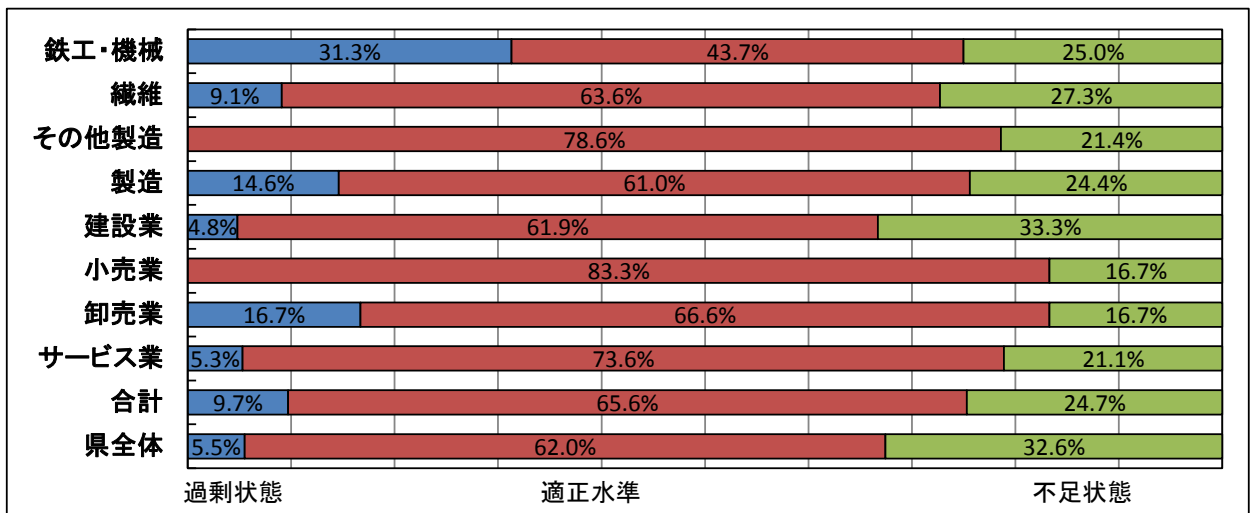
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	6.3	10.0	0.0	5.1	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	▲ 5.6	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 9.7
今期	▲ 56.3	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 5.6	▲ 18.8	▲ 23.9	▲ 12.5
前期	▲ 33.3	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 26.5	▲ 6.7	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 16.0	▲ 20.2	▲ 20.8



雇用情勢

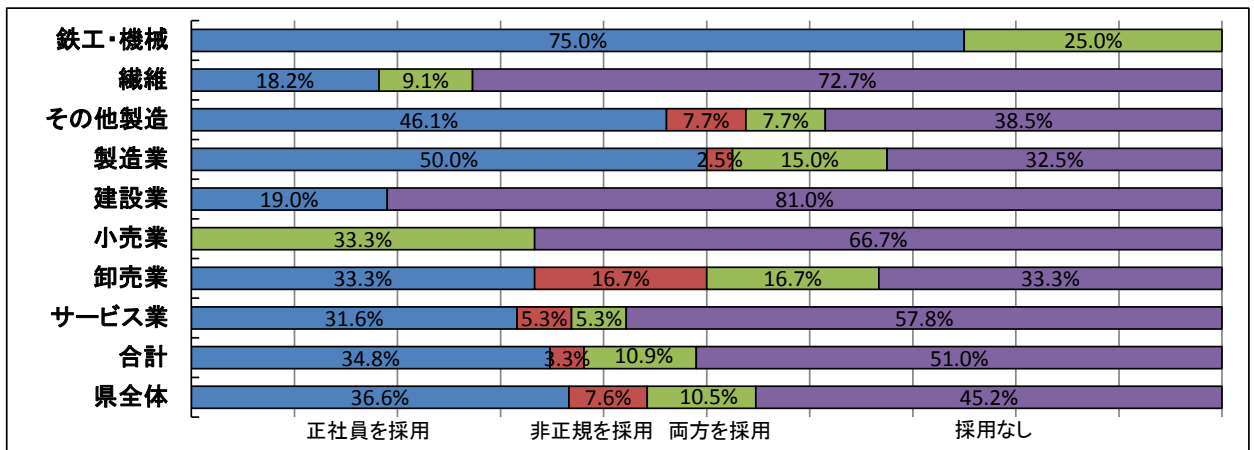
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	31.3%		43.7%		25.0%	
繊維	9.1%		63.6%		27.3%	
その他製造	0.0%		78.6%		21.4%	
製造業	14.6%	9.1%	61.0%	61.7%	24.4%	29.1%
建設業	4.8%	5.1%	61.9%	63.6%	33.3%	31.4%
小売業	0.0%	5.1%	83.3%	61.0%	16.7%	33.9%
卸売業	16.7%	2.3%	66.6%	75.0%	16.7%	22.7%
サービス業(運輸含む)	5.3%	1.7%	73.6%	56.4%	21.1%	41.9%
全体	9.7%	5.5%	65.6%	62.0%	24.7%	32.6%



2. 今期に社員の採用を行ないましたか

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	75.0%		0.0%		25.0%		0.0%	
繊維	18.2%		0.0%		9.1%		72.7%	
その他製造	46.1%		7.7%		7.7%		38.5%	
製造業	50.0%	41.7%	2.5%	6.9%	15.0%	13.7%	32.5%	37.7%
建設業	19.0%	38.5%	0.0%	1.6%	0.0%	6.6%	81.0%	53.3%
小売業	0.0%	19.6%	0.0%	7.1%	33.3%	7.1%	66.7%	66.1%
卸売業	33.3%	40.9%	16.7%	9.1%	16.7%	9.1%	33.3%	40.9%
サービス業(運輸含む)	31.6%	33.6%	5.3%	14.7%	5.3%	12.1%	57.8%	39.7%
全体	34.8%	36.6%	3.3%	7.6%	10.9%	10.5%	51.0%	45.2%



Q「雇用情勢」の項目における「今期の採用」の理由、「雇用全般」に関する意見

① 正規社員を採用した

リーマンショック以降、新卒採用者を押していたこともあり、また団塊世代の定年退職者も増え、若年層のバランス、戦力化が必要（製造業）
今後 10 年以内に定年退職の対象者が出ている。新技術の導入を進めている中、新卒採用を継続しないと自社の魅力がなくなるため（製造業）
毎年新卒 1 名以上採用している(製造業)
平均年齢を下げたい（製造業）
例年、新卒者採用（製造業）
退職者が出たため、補充（製造業）
途中退職及び定年退職が期間内にあるので、新規学卒を正規に採用した（製造業）
若い人材が必要だから（製造業）
高卒採用（製造業）
新入社員 2 名（製造業）
人材不足（製造業）
工事高の増加による人員の確保（建設業）
応募者が少なく、適正人材確保困難、継続かも心配になる（建設業）
金沢や加賀市の配達増加のため（小売、卸売業）
毎年、新卒者を好、不景気に関係なく採用している（卸売業）
人員不足（サービス業）
当社は従業員 40 名で業務を行っているので、新規社員の採用といっても年 1 名程度で、景気に大きく影響は受けない（サービス業）
社員の高齢化に伴い増員（サービス業）

② 非正規社員を採用した

運転手不足のため(適正人員にするため)（サービス業）

③ 正規社員、非正規社員の両方を採用した

新入社員(4 名)入社。派遣社員の補充（製造業）
例年並み（製造業）
新入社員 27 名採用、併せて現業工程生産多忙につき、非正社員を 100 名超を採用（製造業）

現状では若干の人員余剰感はあるものの、60歳以上の従業員が多いため、将来的人員確保の為に採用した（製造業）
今後も定期的に採用を続ける（製造業）
正規の従業員がやめる(金額の高い所へ流出)（製造・卸売業）
人員不足（小売業）

④ どちらも採用しなかった

雇用人員が過剰である（製造業）
景気の好転が見込めないから（製造業）
現状で充分、作業をこなせる（製造業）
景気が悪いため（建設業）
先行きが不透明（建設業）
前期に採用を増やしたため、今期は採用しなかった（建設業）
適正水準と思えるから（建設業）
人がいない、若い労働力がない（建設業）
採用したかったが、希望者がいなかった（建設業）
正規社員の面接をしたが、不採用（建設業）
下請工事としてお願いする（建設業）
適正水準（卸売業）
応募者なし（サービス業）
現在の人員で十分である（サービス業）

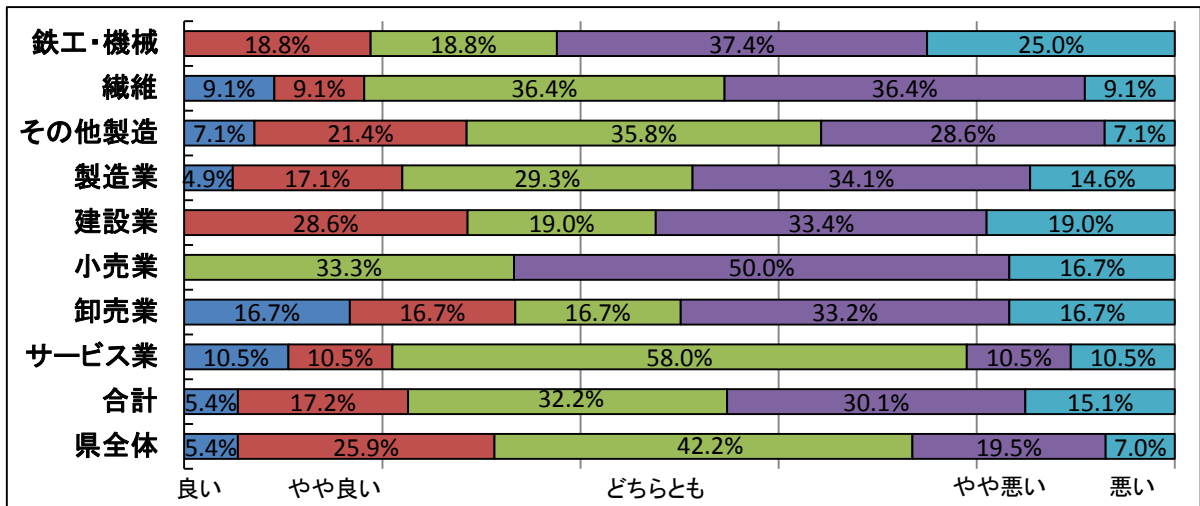
◇ 雇用全般に関する意見

働きたい人が減少している感じ、私(会長)が人生で初めて経験したことを話せば、54歳大卒で経理事務所勤務(経験者)が、5時に家に帰りたいので仕事が多いのは嫌だと、1週間でやめた人がいた。小松は働かなくとも生活出来る人がいる。生存競争には弱い感じがする（製造業）

景気の現状

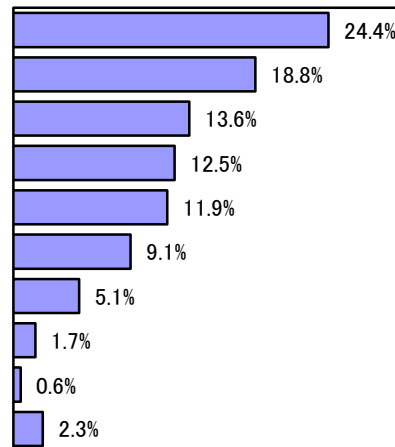
6月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		18.8%		18.8%		37.4%		25.0%	
繊維	9.1%		9.1%		36.4%		36.4%		9.1%	
その他製造	7.1%		21.4%		35.8%		28.6%		7.1%	
製造業	4.9%	5.7%	17.1%	23.9%	29.3%	42.0%	34.1%	20.5%	14.6%	8.0%
建設業	0.0%	6.6%	28.6%	21.5%	19.0%	37.2%	33.4%	25.6%	19.0%	9.1%
小売業	0.0%	1.7%	0.0%	18.6%	33.3%	49.2%	50.0%	23.7%	16.7%	6.8%
卸売業	16.7%	2.3%	16.7%	34.1%	16.7%	40.9%	33.2%	13.6%	16.7%	9.1%
サービス業(運輸含む)	10.5%	6.8%	10.5%	34.2%	58.0%	44.4%	10.5%	12.0%	10.5%	2.6%
全体	5.4%	5.4%	17.2%	25.9%	32.2%	42.2%	30.1%	19.5%	15.1%	7.0%



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	小松		県内
需要の停滞、売上の減少	43社	24.4%	19.2%
仕入単価の上昇	33社	18.8%	17.9%
経費の増加	24社	13.6%	14.1%
従業員の確保難	22社	12.5%	16.0%
販売単価の低下・上昇難	21社	11.9%	11.8%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	16社	9.1%	9.7%
後継者の育成・確保	9社	5.1%	7.0%
事業資金の借入難	3社	1.7%	1.6%
金利負担の増加	1社	0.6%	0.8%
その他	4社	2.3%	1.8%



Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

採算性の悪化 (製造業)
中、長期の景気見通し不透明なため、設備投資の時期模索中 (製造業)
中国子会社の生産状況 (製造業)
市内マーケットの縮小、若年世帯数の減少、新規立地企業無し (サービス業)

Q「経営上の問題点」の項目における「具体的な問題点」

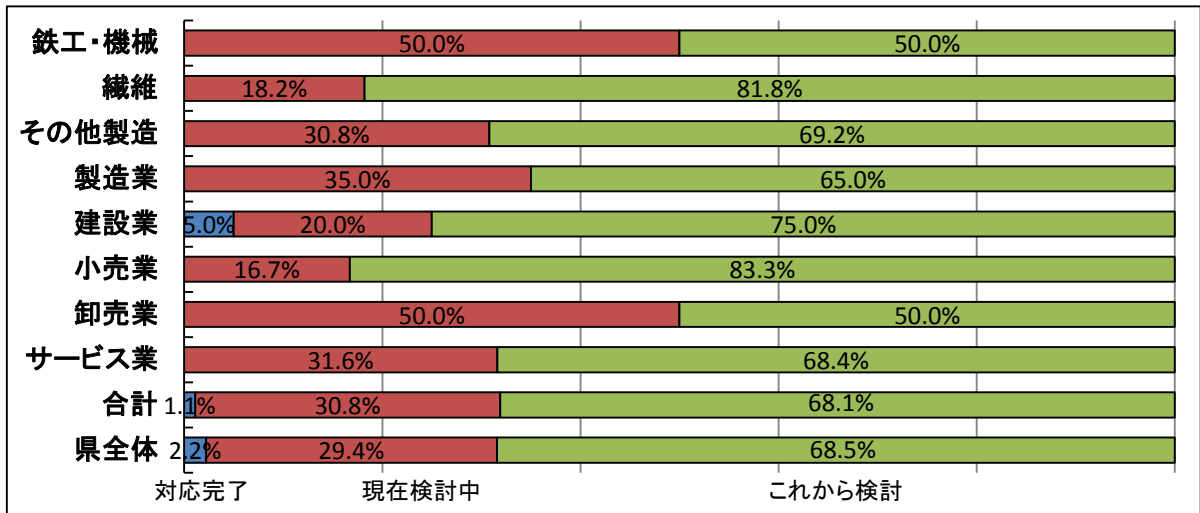
急速な円安の為、中国からの原料の値上がりが顕著 (製造業)
円安による仕入価格の上昇、若年労働者の不足 (製造業)
円安により、購入品、修理代が高くなっている (製造業)
円安による輸入コストの増大 (製造業)
化石燃料商品の高値安定が利益に厳しく、また需要停滞により価格転嫁不可 (製造業)
親企業からの価格改善要請が強い (製造業)
客先からの値下げ (製造業)
コマツに対する依存度が高いため、コマツのオペレーションミスが売上に直結する。建機部品(コマツ関連)以外の受注を増やさないと (製造業)
中国国内の建機需要の減少 (製造業)

売上の減少（製造業）
売上は減少で不変なため、所定労働時間内の仕事量は少ない（製造業）
需要が全体的、統計上からも、低落傾向（製造業）
毎年この時期は需要が落ち込む（製造業）
全般的に低迷感があり、売上の伸びが悪い。高齢者の技術を引き継ぐ人材の不足（製造業）
技術をもった職人の高年齢化による後継者の育成が急務（製造業）
会社で200名以上の現業ライン不足が慢性的な状態（製造業）
超円安の為、仕入価格の大幅上昇（建設業）
公共工事が、小松市、県、国どれも少ない（建設業）
ベースアップに伴う固定費の増加（建設業）
消費税UPに伴い、設備投資に経費が増大している（建設業）
将来的展望が困難（建設業）
求人募集しても、適任する人材が乏しい（建設業）
研修による会費の増加（建設業）
物価上昇にもかかわらず、卸値が上がらない（製造・卸売業）
地元大手建設機械メーカー、関連協力企業群の生産低下（卸売業）
北陸新幹線開業に伴う航空旅客の減少（サービス業）
取引先の売上減少（サービス業）
北陸電力のオール電化攻勢が続いているので、困っている（サービス業）
経営者の高齢に伴う、廃業が増加（サービス業）
借入がいくつもあるので、まとめようか悩んでいる（サービス業）
軽油価格高止まり（サービス業）

マイナンバー制度について

今年の10月より国民一人に1つの個人番号が付与され、事業者の方は従業員等の個人番号の収集（本人確認）・保管等を行い、社会保険の書類や源泉徴収票などに記載が必要となりますが、その対応策（準備）を講じていますか。

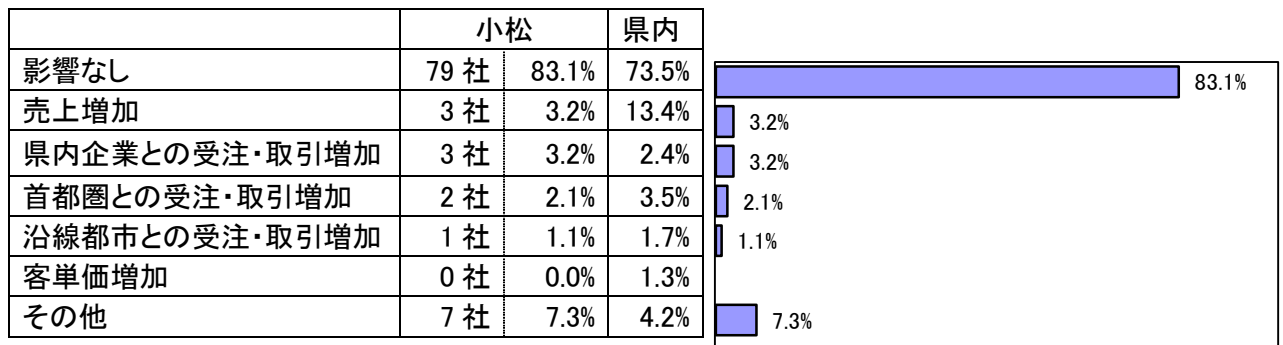
	既に対応は完了済		現在、対応策を検討・実施中		これから対策を検討	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		50.0%		50.0%	
繊維	0.0%		18.2%		81.8%	
その他製造	0.0%		30.8%		69.2%	
製造業	0.0%	1.1%	35.0%	30.9%	65.0%	68.0%
建設業	5.0%	3.4%	20.0%	24.8%	75.0%	71.8%
小売業	0.0%	1.8%	16.7%	23.6%	83.3%	74.5%
卸売業	0.0%	0.0%	50.0%	35.7%	50.0%	64.3%
サービス業(運輸含む)	0.0%	3.5%	31.6%	32.2%	68.4%	64.3%
全体	1.1%	2.2%	30.8%	29.4%	68.1%	68.5%



Q「マイナンバー制度」の項目における具体的意見

システム対応をどうするか（製造業）
しめつけが厳しくなるばかりで、政治も中小企業を見習って無駄を省く努力が必要（製造業）
個人からのNoの取得の際の煩雑さが懸念される。不動産の法定調書の提出の際に、貸主から取得できるのだろうか。理解が得られるか心配している（製造業）
今般の年金個人情報流出つながる不安定要素大きく、商工会として反対願いたい（製造業）
対応すべき内容が良く理解できていない（製造業）
具体的には、わからない事が多いから（製造業・建設業・サービス業）
個人情報漏れるのではないかと心配（製造業、小売業、卸売業）
個人情報の流出がありそうで、社員の中でナンバーを記入しないでほしいという要望がある(小売業)
反対なので、今のところ考えていない（製造業）
事務量が増大する（建設業）
処理が面倒（小売、卸売業）
中小企業の制度に対するモデル的な姿、システムがない（卸売業）
法律で決めれば、それに従うだけです（建設業）
利用目的が限定される為、期限等の問題があり、業務が滞留する可能性があることを想定。マイナンバー取得時の本人確認等書面の保存。2.3年後の処分(黒塗り作業)の面倒さ（サービス業）

北陸新幹線開業の影響について(複数回答可)]



Q「北陸新幹線開業の影響」の項目における「7. その他」の意見

円安で海外観光客増加して、観光バス増産（製造業）
直接的な影響はないが、景気に好影響（製造業）
旅行の増加（小売業）
売上が落ちた（小売業）
金沢の配達増えた（小売、卸売業）
航空旅客が大幅に減少した（サービス業）
わからない

■現在の景気全般に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

総じてよいのだろうが、弊社の顧客動向では、バラツキがあり落ち込んでいる（製造業）
仕事量はあるが、先が読めない（製造業）
受注は増えているが、多品種少量生産のため、生産性が低下している（製造業）
去年、消費税を8%に上げてから景気は悪化、最近になってようやく、上向いてきたようだ（製造業）
先日の観光文化委員会で加賀市の担当者の話では、厳しい現状の理解が足りない。温泉旅館は個々の努力にまかせて一番大事は町の発展だと思う（製造業）
内需がよくない。外需は石油産出国への輸出が不振（製造業）
当社の業種は右肩上がりの要因がないので、悪いまま「不変」がしばらく年単位で続きそうなので不安である（製造業）
5月の実質賃金プラスは明るい材料で、個人消費を押し上げると思うが、産業界によっては、明暗がわかる（製造業）
景気がよくなったという実感はないが、少し良くなるのではという気配を感じる（製造業）
何とか現状が維持されることを期待している（製造業）
円安になっても、地産地消が進んでおり、リーマンショック前のようにはならないと考える（製造業）
人材不足は深刻（製造業）
判断が難しい（建設業）
景気は非常に悪い。一年間平準化して、公共事業を発注してほしい（建設業）
仕事の片寄りがみられる（建設業）
見えてこない、周りも悪いと聞く（建設業）
停滞感の真中（建設業）
大型物件が周辺にたくさん施工予定であるが、スーパーゼネコンに施工主が注文するため地元会社には仕事が来ない（建設業）
地元の製造業に大きなウェートを占めるコマツ、その協力企業の生産低下が大幅であり、工作機械、バス、トラックなど好調な業界と明暗がある（卸売業）
物価高にも係らず、自前の商品単価が据え置かれている(量販店の競争による)（製造・卸売業）
仕入原価の高騰は今までにない高値(円安のため)、売価がつけられない値で、困っている（小売業）
株、投信への関心がある個人が急増している（サービス業）
社員の賃金上昇のための収益確保に苦慮(運賃値上げがなければ今後は低迷する)（サービス業）
大企業は景気が良いとの事だが、中小はまだまだだ（サービス業）
北陸新幹線の経済効果が小松市にも出ることを考えている（サービス業）
地方においては、日用品の消費は増加していないと考えている。観光(金沢中心)がいいとはいえ、ほんの一部と思われる（サービス業）

■ 商工会議所が取組む課題やご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

助成金制度の情報を他に先駆けて、発信願いたい（製造業）
情報交換と生存競争に勝ち抜く努力を促す事。大和の跡地利用も決められない市政は情けない（製造業）
駐車場が満杯の時もあるので、第二駐車場があったらよい（製造業）
広い意味で、各業種が活気づく方策を期待している（製造業）
新幹線延伸工事に関して、下請への配慮を強く望む（建設業）
政府の成長戦略に取り上げられた成長産業から地域創生の取り組みとして、一大ブランド産業をつくり上げる推進組織をつくる（卸売業）
大型店や郊外店の進出に対する対応（卸売・小売業）
製品、商品に特殊性または、付加価値のあるものを宣伝していく事。また、その開発を支援する事(現状でも行っていると思います)（サービス業）

■ 商工会議所へのご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

①助成金制度の情報を他に先駆けて、発信願いたい（製造業）
②情報交換と生存競争に勝ち抜く努力を促す事。大和の跡地利用も決められない市政は情けない（製造業）
③駐車場が満杯の時もあるので、第二駐車場があったらよい（製造業）
④広い意味で、各業種が活気づく方策を期待している（製造業）
⑤新幹線延伸工事に関して、下請への配慮を強く望む（建設業）
⑥政府の成長戦略に取り上げられた成長産業から地域創生の取り組みとして、一大ブランド産業をつくり上げる推進組織をつくる（卸売業）
⑦大型店や郊外店の進出に対する対応（卸売・小売業）
⑧製品、商品に特殊性または、付加価値のあるものを宣伝していく事。また、その開発を支援する事(現状でも行っていると思います)（サービス業）

会議所コメント：

①

会員企業の発展と地元経済振興に寄与すべく、時代を捉えて迅速、且つ積極的に情報提供して参ります。

②④⑤⑥⑦

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、全ての中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施してまいります。

③

貸館状況により、ご迷惑をお掛けする場合がございますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

⑧

行政の関連部署や業界団体等と連携を図り、会員事業所のご要望にお応えすべく努力して参ります。